

6. 授業科目及び履修・登録

【心理学研究科 臨床心理学専攻(博士前期課程)】

(1) 授業科目の履修・登録について

1. 授業科目の区分

- (1) 授業科目は基礎科目、専門科目、関連科目、演習科目からなっている。
- (2) 授業科目の構成と本年度開講される科目は、「2024年度開講科目表」のとおりである。

2. 単位制

- (1) 授業科目の履修は単位制によって行われる。各科目の単位は「2024年度開講科目表」のとおりである。
- (2) 単位の基礎となる授業時間

講時	昼講時・夜講時別	1 コマの時間
1 講時	昼講時	9 : 00~10 : 30
2 講時	昼講時	10 : 45~12 : 15
3 講時	昼講時	13 : 10~14 : 40
4 講時	昼講時	14 : 55~16 : 25
5 講時	昼講時	16 : 35~18 : 05
6 講時	夜講時	18 : 10~19 : 40
7 講時	夜講時	19 : 45~21 : 15

(3) 試験期間内の時間

試験については別途スケジュールによる場合もある。

(4) 授業時間の出席時数

- ① 学年始めに履修科目を登録し、原則として各科目の授業時数の「3分の2以上」出席して成績が60点以上であった場合に単位が認められる。
- ② 出席時数の最終判断は、科目担当教員が行う。

3. 修了に必要な要件

- (1) 博士前期課程の修了のためには、大学院に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ修士論文審査及び最終試験に合格すること。

【2021年度以後入学者】

1) 授業科目、単位数

基礎科目群	臨床心理士 受験資格関連	公認心理師 受験資格関連	単位数	関連科目群	臨床心理士 受験資格関連	公認心理師 受験資格関連	単位数
認知心理学特論	B群		2	犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	C群	④	2
心理統計学特論	A群		2	社会心理学特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	C群	⑤	2
心理学研究法特論	A群		2	障害児心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開a)	D群	② △	2
専門科目群	臨床心理士 受験資格関連	公認心理師 受験資格関連	単位数	老年心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開b)	D群	② △	2
臨床心理学特論Ⅰ	**		2	心理療法特論	E群		2
臨床心理学特論Ⅱ	**		2	家族関係・集団・地域社会における 心理支援に関する理論と実践		⑧	2
臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践)	**	⑦	2	児童精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開b)		① △	2
臨床心理面接特論Ⅱ	**		2	教育・心理検査特論			2
臨床心理査定演習Ⅰ (心理的アセスメントに関する理論と実践)	**	⑥	2	発達心理学特論	B群		2
臨床心理査定演習Ⅱ	**		2	青年心理学特論			2
臨床心理基礎実習Ⅰ	**		1	健康心理学特論 (心の健康教育に関する理論と実践)		⑨	2
臨床心理基礎実習Ⅱ	**		1	学校カウンセリング特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)		③	2
臨床心理実習Ⅰ	**		1	投映法特論	E群		2
臨床心理実習Ⅱ	**		1				
臨床心理事例研究法演習Ⅰ	***		2	演習科目群	臨床心理士 受験資格関連	公認心理師 受験資格関連	単位数
臨床心理事例研究法演習Ⅱ	***		2	臨床心理学専門演習Ⅰ*			2
精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開a)	D群	① △	2	臨床心理学専門演習Ⅱ*			2
心理実践実習(学内)Ⅰ		⑩	5	臨床心理学専門演習Ⅲ*			2
心理実践実習(学内)Ⅱ		⑩	4	臨床心理学専門演習Ⅳ*			2
心理実践実習(学外)Ⅰ		⑩	4	特別研究*			4
心理実践実習(学外)Ⅱ		⑩	4				

2) 履修方法及び修了要件

- ① 基礎科目群から4単位以上を履修
- ② 専門科目群から8単位以上を履修
- ③ 専門科目群または関連科目群から6単位以上を履修
- ④ 演習科目群から12単位(専攻が定める*印の必修科目)を履修

(注1) 公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が認定する臨床心理士受験資格を取得するために、専門科目群のうち、**印の科目を必修とする。また、A群～E群のそれぞれから2単位以上を履修する必要がある。臨床心理士受験資格のみを取得する場合は、***の科目を必ず履修すること。なお、**、***の科目およびE群の科目は、臨床心理学専攻の学生しか履修できない。

(注2) 国家資格「公認心理師」の受験資格を取得するために、指定された科目①から⑩を履修する必要がある。①と②においては、それぞれ△印の科目から1科目以上を取得すること。

(注3) 研究科会議において、教育・研究上有益と認められた場合には、学部の授業科目を8単位を超えない範囲で履修することができる。

(注4) 研究科会議において、教育・研究上有益と認められた場合、他研究科・他専攻の授業科目を、8単位を超えない範囲で履修することができる(修了要件には算入されない)。

(注5) 臨床心理基礎実習Ⅰ・Ⅱ(1年次)および臨床心理実習Ⅰ・Ⅱ(2年次)は、心理臨床センターにおいて随時おこなわれ、これ以外に学外実習も必要とされる。そのため、大学の長期休暇中も実習は継続され、また

- 時間割に記載されていない時間帯でもおこなわれるため、指導教員と実習についての打ち合わせを十分におこなうこと。なお、臨床心理士受験資格取得には学外実習が必修であり、学外実習費が別途必要とされる。
- (注6) 心理実践実習(学内) Iおよび心理実践実習(学内) IIは学内心理臨床センターでの実習、心理実践実習(学外) Iおよび心理実践実習(学外) IIは、学外機関での実習である。実習は、大学の長期休暇中も継続され、時間割に記載されていない時間帯にもおこなわれるため、担当教員および実習指導者と、実習についての打ち合わせを十分におこなうこと。心理実践実習(学外) I、心理実践実習(学外) IIについては、学外実習費が別途必要とされる。
- (注7) 心理実践実習(学内) II、心理実践実習(学外) IBもしくはIIBの2科目の単位修得をもって「臨床心理実習I」を修得したとみなす。

(2) 研究指導計画

各学年で定められた期間内に、学生は「研究指導計画書」(様式は「論文作成の手引き」を参照)に必要事項を記入し、提出すること。

(3) 修士論文審査

I 論文審査

学位論文(修士論文)は以下の基準によって審査を行う。

1. 研究テーマの妥当性について
 - (1) 独創性、有用性のいずれかを有しているか。
 - (2) 臨床心理学的視点を有しているか。
 - (3) 先行研究について十分な調査を行い、研究の意義・重要度を明示できているか。
 - (4) 他の研究との関連性や相違について言及されているか。
 - (5) 研究の目的は明確に示されているか。
 - (6) 目的は論理的に導かれているか。
2. 研究の遂行について
 - (1) 研究・調査の方法は適切か、目的に対するアプローチ方法は適切か。
 - (2) 倫理的な問題を有する場合、その対処が適切になされているか。
 - (3) 収集された情報の分析方法、あるいは、得られたデータの分析方法は適切か。
3. 考察について
 - (1) 結果に対する解釈は適切か。
 - (2) 結果から新たな知見が導き出せているか。
 - (3) 考察は論理的に展開されているか。
 - (4) 臨床心理学的意義が示されているか。
4. 研究の価値について
 - (1) 研究に「独創性」「有用性」「体系性」「実証性」「論証性」「普遍性」などの価値が認められるか。
5. 論文の構成について
 - (1) 論文の構成および体裁(表紙、本文、要約、引用文献など)は適切か。
 - (2) 図・表は適切に示されているか。

II 口頭試問

1. 修士論文の内容に関する質疑に適切に答えられたか。
2. 研究成果のさらなる発展性に関する質疑に適切に答えられたか。

III 評価

論文審査、口頭試問を総合して、評価される。

4. 資格の取得に関する科目について

(1) 受験資格

本研究科において取得できる資格（受験資格）は次のとおりである。

研究科・専攻		資格（受験資格）の種類
心理学研究科	臨床心理学専攻	臨床心理士（受験資格）
		公認心理師（受験資格）

前項の資格（受験資格）を取得しようとする者は、認定を行う団体もしくは法律の定める所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。公認心理師については、公認心理師に必要な科目の単位を修得し、大学院の課程を修了しなければならない。

【臨床心理士（受験資格）】

（公財）日本臨床心理士資格認定協会が認定する「臨床心理士」の受験資格を取得するためには、以下の単位を必要とする。なお、これらの単位は、大学院心理学研究科臨床心理学専攻（博士前期課程）修了に必要とする単位とは別のものであり、以下の「必修科目」および「選択必修科目」の区別も大学院心理学研究科臨床心理学専攻（博士前期課程）での区別とは別のものであるので、注意すること。

必修科目16単位に加え、以下の選択必修科目A・B・C・D・E群の各群から、2単位以上（選択必修科目計10単位以上）を必要とする。

【2021年度以後入学者】

	科目名	単位数	備考	
必修科目	臨床心理学特論Ⅰ	2	1年次で履修すること	
	臨床心理学特論Ⅱ	2	1年次で履修すること	
	臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践)	2	1年次で履修すること	
	臨床心理面接特論Ⅱ	2	1年次で履修すること 「臨床心理面接特論Ⅰ」「臨床心理基礎実習Ⅰ」 を修得済みであること	
	臨床心理査定演習Ⅰ (心理的アセスメントに関する理論と実践)	2	1年次で履修すること	
	臨床心理査定演習Ⅱ	2	1年次で履修すること 「臨床心理査定演習Ⅰ」「臨床心理基礎実習Ⅰ」 を修得済みであること	
	臨床心理基礎実習Ⅰ	1	1年次で履修すること	
	臨床心理基礎実習Ⅱ	1	1年次で履修すること 「臨床心理基礎実習Ⅰ」を修得済みであること	
	臨床心理実習Ⅰ	1	2年次で履修すること 「臨床心理基礎実習Ⅱ」を修得済みであること	
	臨床心理実習Ⅱ	1	2年次で履修すること	
選択必修科目	A群	心理学研究法特論	2	} 2単位以上
		心理統計学特論	2	
	B群	認知心理学特論	2	} 2単位以上
		発達心理学特論	2	
	C群	犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2	} 2単位以上
		社会心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	2	
	D群	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開a）	2	} 2単位以上
		障害児心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開a）	2	
		老年心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開b）	2	
	E群	心理療法特論	2	} 2単位以上
投映法特論		2		

その他

- 1) 本大学院において臨床心理士受験資格を取得するためには、2年次において上記必要単位以外に、臨床心理事例研究法演習Ⅰ・Ⅱ（4単位）を履修すること。ただし、公認心理師受験資格をあわせて取得する場合には履修しない。

- 2) 臨床心理基礎実習Ⅰ・Ⅱ(1年次)および臨床心理実習Ⅰ・Ⅱ(2年次)は、心理臨床センターにおいて随時おこなわれ、これ以外に学外実習も必要とされる。そのため、大学の長期休暇中も実習は継続され、また時間割に記載されていない時間帯でもおこなわれるため、指導教員と実習についての打ち合わせを十分行なうこと。なお、臨床心理士受験資格取得には学外実習が必修であり、学外実習費が別途必要とされる(学外実習費についてはP.76を参照)。
- 3) 心理実践実習(学内)Ⅱ、心理実践実習(学外)ⅠBもしくはⅡBの2科目の単位修得をもって「臨床心理実習Ⅰ」を修得したとみなす。

【公認心理師（受験資格）】

国家資格「公認心理師」の受験資格を取得するためには、以下の科目の単位を修得し、大学院の課程を修了することが必要である。

【2021年度以後入学者】

公認心理師 指定科目	本学での科目名	単位数	備考
心理実践科目	①保健医療分野に関する理論と支援の展開 精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開a) 児童精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開b)	2	左記2科目のうち1科目以上を修得すること。
	②福祉分野に関する理論と支援の展開 障害児心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開a) 老年心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開b)	2	左記2科目のうち1科目以上を修得すること。
	③教育分野に関する理論と支援の展開 学校カウンセリング特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	2	
	④司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2	
	⑤産業・労働分野に関する理論と支援の展開 社会心理学特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	2	
	⑥心理的アセスメントに関する理論と実践 臨床心理査定演習Ⅰ (心理的アセスメントに関する理論と実践)	2	
	⑦心理支援に関する理論と実践 臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践)	2	
	⑧家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	2	
	⑨心の健康教育に関する理論と実践 健康心理学特論 (心の健康教育に関する理論と実践)	2	
実習科目	心理実践実習（学内）Ⅰ	5	M1 通年集中
	心理実践実習（学内）Ⅱ	4	M2 前期集中
	⑩心理実践実習（450時間以上） 心理実践実習（学外）Ⅰ	4	A：M1 後期集中 B：M2 前期集中
	心理実践実習（学外）Ⅱ	4	A：M1 後期集中 B：M2 前期集中

その他

- 心理実践実習（学内）Ⅰ、心理実践実習（学内）Ⅱは、学内心理臨床センターでの実習、心理実践実習（学外）Ⅰ、心理実践実習（学外）Ⅱは、学外の実習機関での実習である。実習は、大学の長期休暇中も継続され、時間割に記載されていない時間帯にもおこなわれるため、担当教員および実習指導者と、実習についての打ち合わせを十分行うこと。
- 心理実践実習（学外）Ⅰ、心理実践実習（学外）Ⅱについては、学外実習費が別途必要とされる（学外実習費についてはP.76を参照）。

5. 登録について

- 登録とは、毎年学年始めにその年度に履修するすべての授業科目を大学に届け出る手続きのことをいう。
- 登録手続きは、4月学年始めの履修登録オリエンテーション後、指定の期日までにWEB登録するとともに、各自の受講科目一覧表・受講時間表等を提出することによって完了する。
- 登録は、本人が責任を持って行うこと。代理登録は認められない。

6. 実習等に関する費用について

臨床心理士および公認心理師の受験資格取得にかかる学外実習費として、60,000円を徴収する。ほかに、法定伝染病に関わる抗体検査および必要に応じてのワクチン接種費、実習先で求められるインフルエンザ等の感染症のワクチン接種費や検査費（PCR検査等）、賠償責任等の保険費用、交通費、昼食代、各種証明書の発行費など実費がその都度必要になる。

実習費（実費を除く）は、M1前期終了時に徴収する。

7. 留意事項

- (1) 登録した科目でないと履修（単位修得）できないので注意すること。
- (2) 修了に必要な科目・単位を確保することに努めること。
- (3) 必修科目の単位を修得できなかったときは、当該科目を再履修しなければならない。
- (4) 同一番号の科目は、重複履修しても最初履修して合格した1科目の単位しか認められない。年度によって担当者・講義内容の異なる同一番号の科目も同様の扱いとなるので注意すること。
- (5) 二重登録は禁止する。同一講時に履修できるのは1科目のみで、2科目以上を登録することはできないので注意すること。
- (6) 登録書類の作成要領は登録時に説明されるが、各科目の内容については登録日までに講義概要（シラバス）を熟読しておくこと。
- (7) 時間割は、学生の個人的事情で変更されることはない。したがって履修科目の組み合わせに留意して計画をたてること。

8. 掲示および学生ポータルサイトによる通知・連絡について

時間割の変更、休講、補講、教室の変更、試験日程などの授業関係及びその他の通知・連絡は掲示または学生ポータルサイト（UNIPA又はmanaba）で行う。登校・下校の際は必ず掲示板に注意するとともに、定期的にポータルサイトをチェックすること。また、ポータルサイトについては、各自4月中にサイト内の個人ポータル画面からメール転送設定を行うこと。

(2) 2024年度開講科目表
心理学研究科 臨床心理学専攻 (博士前期課程)

○臨床心理学専攻 [2021年度以後入学者用]

科目 コード	授業科目	期間	単位	必修	配当 学年	担当者	備考
【基礎科目】							
270016	認知心理学特論	前期	2		1・2	菊野雄一郎	
270017	心理統計学特論	後期	2		1・2	森下正修	
270015	心理学研究法特論	前期	2		1・2	森下正修	
【専門科目】							
270072	臨床心理学特論Ⅰ	前期	2	※	1・2	伊藤一美	
270108	臨床心理学特論Ⅱ	後期	2	※	1・2	佐藤睦子	
270402	臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践)	前期	2	※	1・2	中藤信哉	
270075	臨床心理面接特論Ⅱ	後期	2	※	1・2	空間美智子	「臨床心理面接特論Ⅰ」「臨床心理基礎実習Ⅰ」を修得済みであること
270133	臨床心理基礎実習Ⅰ	前期	1	※	1	中藤信哉 伊藤一美 佐藤睦子 空間美智子 武藤翔太	(統括) 中藤信哉
270134	臨床心理基礎実習Ⅱ	後期	1	※	1	佐藤睦子 武藤翔太 向山泰代 伊藤信哉 中藤信哉	(統括) 佐藤睦子
270135	臨床心理実習Ⅰ	前期	1	※	2	仲倉高広 伊藤一美 佐藤睦子 空間美智子 中藤信哉 薦田未央 武藤翔太	(統括) 仲倉高広 「臨床心理基礎実習Ⅱ」を修得済みであること
270136	臨床心理実習Ⅱ	後期	1	※	2	空間美智子 伊藤一美 仲倉高広 向山泰代 佐藤睦子 中藤信哉 武藤翔太	(統括) 空間美智子
270200	臨床心理事例研究法演習Ⅰ	前期 集中	2	※※	2	伊藤一美	
270201	臨床心理事例研究法演習Ⅱ	後期 集中	2	※※	2	伊藤一美	
270418	臨床心理査定演習Ⅰ (心理的アセスメントに関する理論と実践)	前期 前半	2	※	1・2	向山泰代	
270120	臨床心理査定演習Ⅱ	後期	2	※	1・2	薦田未央	「臨床心理査定演習Ⅰ」「臨床心理基礎実習Ⅰ」を修得済みであること
270410	精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開a)	集中	2		1・2	河瀬雅紀	

科目コード	授業科目	期間	単位	必修	配当学年	担当者	備考
270438	心理実践実習(学内) I	通年集中	5		1	伊藤 藤 一 美 武 藤 翔 太 佐 藤 睦 子 空 間 美 智 中 藤 信 哉 福 倉 高 広 鶴 山 幸 子 田 山 子 薫	(統括)伊藤一美
270439	心理実践実習(学内) II	前期集中	4		2	仲 倉 高 広 向 山 泰 一 伊 藤 睦 子 佐 藤 美 智 空 間 信 哉 中 藤 翔 太 福 倉 幸 子 鶴 山 子 薫	(統括)仲倉高広
270440	心理実践実習(学外) I A	後期集中	4		1	武 藤 翔 太 伊 藤 一 美 中 藤 信 哉 仲 倉 高 広	(統括)武藤翔太
270440	心理実践実習(学外) I B	前期集中	4		2	武 藤 翔 太 伊 藤 一 美 中 藤 信 哉 仲 倉 高 広	(統括)武藤翔太
270441	心理実践実習(学外) II A	後期集中	4		1	薦 田 未 央 佐 藤 睦 子 空 間 美 智	(統括)薦田未央
270441	心理実践実習(学外) II B	前期集中	4		2	薦 田 未 央 佐 藤 睦 子 空 間 美 智	(統括)薦田未央
【関連科目】							
270032	発達心理学特論	後期	2		1・2	高 井 直 美	
270034	青年心理学特論	後期	2		1・2	尾 崎 仁 美	
270406	老年心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開b)	半年	2		1・2		本年度休講(隔年開講1)
270054	教育・心理検査特論	前期集中	2		1・2	松 島 る み	
270442	投映法特論	後期	2		1・2	武 藤 翔 太	(隔年開講2)
270073	心理療法特論	集中	2		1・2	杉 原 保 史	
270103	児童精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開b)	後期	2		1・2	久 保 田 泰 考	
270404	障害児心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開a)	集中	2		1・2	磯 部 美 也 子	(隔年開講2)
270408	社会心理学特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	前期	2		1・2	永 野 光 朗	
270422	家族関係・集団・地域社会における 心理支援に関する理論と実践	後期	2		1・2	鶴 田 薫	
270420	犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	前期	2		1・2	藤 川 洋 子	
270424	健康心理学特論 (心の健康教育に関する理論と実践)	後期	2		1・2	武 藤 翔 太	
270416	学校カウンセリング特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	前期	2		1・2	福 山 幸 子	

科目 コード	授 業 科 目	期間	単位	必修	配当 学年	担当者	備 考
【演習科目】							
270235	臨 床 心 理 学 専 門 演 習 I	前期	2	○	1	専 任 教 員	(統括) 薦田未央
270236	臨 床 心 理 学 専 門 演 習 II	後期	2	○	1	専 任 教 員	(統括) 菊野雄一郎
270237	臨 床 心 理 学 専 門 演 習 III	前期	2	○	2	専 任 教 員	(統括) 薦田未央
270238	臨 床 心 理 学 専 門 演 習 IV	後期	2	○	2	専 任 教 員	(統括) 菊野雄一郎
270153	特 別 研 究	集中	4	○	2	専 任 教 員	

注) 公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が認定する臨床心理士受験資格を取得するために、専門科目群のうち、※印の科目を必修科目とする。臨床心理士受験資格のみを取得する場合は、※※印の科目を必ず履修すること。

科目名英訳対照表

【臨床心理学専攻科目英訳】

臨床心理学専攻

Clinical Psychology

科 目 名	英 訳
認 知 心 理 学 特 論	Cognitive Psychology
心 理 統 計 学 特 論	Psychological Statistics
心 理 学 研 究 法 特 論	Research Method of Psychology
発 達 心 理 学 特 論	Developmental Psychology
青 年 心 理 学 特 論	Psychology of Adolescence
老 年 心 理 学 特 論 (福祉分野に関する理論と支援の展開b)	Psychology of Aging (Support Theory and Applications in Social Welfare Area)
教 育 ・ 心 理 検 査 特 論	Educational and Psychological Testing
投 映 法 特 論	Projective Methods
心 理 療 法 特 論	Psychotherapy
児 童 精 神 医 学 特 論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開b)	Child Psychiatry (Support Theory and Applications in Medical and Health Area)
障 害 児 心 理 学 特 論 (福祉分野に関する理論と支援の展開a)	Psychology of Children with Disabilities(Support Theory and Applications in Social Welfare Area)
社 会 心 理 学 特 論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	Social Psychology (Support Theory and Applications in Industry and Work Area)
精 神 医 学 特 論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開a)	Psychiatry (Support Theory and Applications in Medical and Health Area)
学 校 カ ウ ン セ リ ン グ 特 論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	School Counseling (Support Theory and Applications in Educational Area)
家 族 関 係 ・ 集 団 ・ 地 域 社 会 に お け る 心 理 支 援 に 関 す る 理 論 と 実 践	Support Theory and Practice for Family, Group, and Community
犯 罪 心 理 学 特 論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	Criminal Psychology (Support Theory and Applications in Forensics and Criminology Area)
健 康 心 理 学 特 論 (心の健康教育に関する理論と実践)	Health Psychology (Theory and Practice for Mental Health Education)
臨 床 心 理 学 特 論 I	Clinical Psychology I
臨 床 心 理 学 特 論 II	Clinical Psychology II
臨 床 心 理 面 接 特 論 I (心理支援に関する理論と実践)	Counseling I (Theory and Practice of Psychological Support)
臨 床 心 理 面 接 特 論 II	Counseling II
臨 床 心 理 査 定 演 習 I (心理的アセスメントに関する理論と実践)	Seminar on Psychological Assessment I (Theory and Practice of Psychological Assessment)
臨 床 心 理 査 定 演 習 II	Seminar on Psychological Assessment II
臨 床 心 理 基 礎 実 習 I	Basic Practice in Clinical Psychology I
臨 床 心 理 基 礎 実 習 II	Basic Practice in Clinical Psychology II
臨 床 心 理 実 習 I	Practice in Clinical Psychology I
臨 床 心 理 実 習 II	Practice in Clinical Psychology II
臨 床 心 理 事 例 研 究 法 演 習 I	Seminar on Clinical Psychology (Case Studies) I
臨 床 心 理 事 例 研 究 法 演 習 II	Seminar on Clinical Psychology (Case Studies) II
心 理 実 践 実 習 (学 内) I	Advanced Practical Training in Psychology (Campus Practice) I
心 理 実 践 実 習 (学 内) II	Advanced Practical Training in Psychology (Campus Practice) II
心 理 実 践 実 習 (学 外) I	Advanced Practical Training in Psychology (Off-Campus Practice) I
心 理 実 践 実 習 (学 外) II	Advanced Practical Training in Psychology (Off-Campus Practice) II
臨 床 心 理 学 専 門 演 習 I	Graduate Seminar in Clinical Psychology I
臨 床 心 理 学 専 門 演 習 II	Graduate Seminar in Clinical Psychology II
臨 床 心 理 学 専 門 演 習 III	Graduate Seminar in Clinical Psychology III
臨 床 心 理 学 専 門 演 習 IV	Graduate Seminar in Clinical Psychology IV
特 別 研 究	Master Thesis